



夏

...輝きのある季節

～夏こそ化粧品を上手に使いましょう～

一歩外へ出たら眩しい光の季節。太陽がサンサンと
ふりそそいでいます。今年こそ暑さも、きらめく日ざ

しも心地よく感じ夏を充分満喫しましょう。そのためには化粧品を上手に使いわ
けることです。紫外線による日焼け、シミ、ソバカス対策は充分ですか？日焼け
止め化粧品や帽子、日傘なども忘れずに。

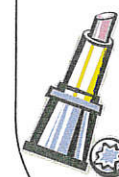
油断してはいけないのが乾燥対策。とにかく夏は汗をかき肌への潤いを怠りがち
です。冷房が原因の乾燥は肌にとっては大敵です。化粧水や美容液で肌に潤いを
タププリ補給しましょう。化粧品を上手に活用し夏のダメージを肌に残さないこ
とが大切です。秋へとつづく美しさに自信がもてます。



化粧品の保管について

化粧品は常温で保管できます。特別な製品でない
限り、冷蔵庫に入れる必要はありません。しかし中
にはデリケートな成分が配合されていて、安定性や
衛生面から冷蔵庫保管をおすすめしている化粧品も
ありますので説明書などの指示に従ってください。

化粧水など清涼感を高めるために一時的に冷蔵庫
で冷やすのはかまいませんが、原則として化粧品は
温度変化が少なく、直射日光があたらない、常温の
場所に保管しましょう。



むしろ夏の時期化粧品の保管について特に気
をつけたいことは屋外に駐車した車の中など、
非常に高温になる場所に化粧品を放置しないこ
とです。品質が低下したり、口紅が溶けたりす
る場合がありますので充分注意してください。

界面活性剤について

界面活性剤はクリームや乳液、クリームタイプのファンデーション、シャンプー、
洗顔料などにとっては主要成分としてなくてはならないものです。他の化粧品でも安
定性向上の目的で配合されることがよくあります。水分と油分、水分と粉末などその
ままでは均一に混じり合わない成分をなじみやすくする作用をもっていて、乳化、分
散、起泡、洗浄など働きがあります。例えば水分と油分を均一に混じり合わせるとき
に界面活性剤を使用します。いわゆる乳化と呼ばれるもので両成分が細かく平均的に
混じり安定性が増します。このような乳化の働きはマヨネーズやマーガリンなど暮らし
の中にも多く見られ、又人間の体内では脂肪の消化吸收や輸送などに利用されていま
す。

化粧品に使用されている界面活性剤は厳しい安定性テストに合格したものばかり
です。安心してご使用ください。

化粧品は衛生的に使いましょう!!

化粧品は微生物がキライ

食中毒の発生しやすいこれからの季節、食物だけでなく化粧品の衛
生的な使用を心がけましょう。化粧品は多種の成分から出来ていま
す。天然系の成分など微生物が発生しやすい成分も多種あり菌やカビ
が繁殖しやすいものです。特にこれからの季節は注意が必要です。保
存料も配合されておりますが微量な場合が多いので
保存料にたよることは危険です。汚れた手で化粧品
を採ったり、一度手に採った化粧品を容器にもどす
ことはやめましょう。微生物の汚染は品質の低下だ
けでなく、肌の刺激になることもあります。

